

# 福島からの現地報告

福島民報 9/9

市民協のコーディネートによる  
「お芝居」で介護労働現場を改善するチャレンジ!!

厚生労働省雇用管理改善事業の取り組みが、  
福島のまごころサービス福島センター(須田弘子)で  
始まる!!

県内初の実施団体に まごころサービス福島センター厚生省委託事業

福島市のNPO法人まごころサービス福島センターは8日までに、厚生労働省の介護雇用管理改善推進委託事業の実施団体に選ばれた。11月7日午後2時から市内のまごころケアホーム高湯の里で介護事業をPRする演劇を披露する。8日、同所で演劇の事前告知活動をした。

委託事業は介護事業への就労促進と定着を目指し、今年度から始まった。県内では同センターだけが選ばれ、年度末まで就労支援セミナーなどを繰り広げる。

8日は東京の劇団「お芝居デリバリー・まりまり」が、利用者の前で参加型の演劇を披露。利用者が出演する本番に向けて、ムードを盛り上げた。同劇団は10月下旬に再び福島市で利用者とともに事前げいこをする。

同センターの須田弘子理事長は「演劇を通じ、介護の仕事を多くの人に理解してほしい」と話す。演劇への来場は自由。問い合わせは高湯の里 電話024(591)1950へ。



【写真】利用者参加型の演劇を事前告知する「まりまり」

## 介護の仕事「明るいよ」



芝居に参加し、紙吹雪をまいたケアホームの高齢者たち

演劇集団、ケアホームで上演へ

介護を経験した俳優が劇を通じて明るい介護や福祉に関する舞台を上演する東京の演劇集団「お芝居デリバリー・まりまり」が8日、11月8日に公演を行う福島市の「まごころケアホーム高湯の里」を訪れ、事前あいさつをした。

今回は福島労働局の委託事業として、介護職の求職希望者らに介護から得る喜びなどを知ってもらうのが狙い。この日はさっそくオリジナルの昔話を寸劇にし、入居者たちを喜ばせた。「介護は大変というイメージがあるが、介護を通して教わることは多く、仕事としても明るいものだということを多くの人に知ってほしい」と、「まりまり」の代表者・萩原ほたかさん。

11月は、就労希望者だけでなく家族内で介護を必要としている人たちも対象にし、観客も参加して楽しめる芝居をする